

整理番号	29-1	事務事業名	団体営客土支援事業	作成部署	経済部農政課	電話	内線852
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	部長職名	池上俊廣	課長職名	鈴木康照	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H13	根拠法令等	北広島市農業振興奨励事業補助金交付要綱				
// 終了予定年度	H17						
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	地下水位が高く暗渠排水も十分効かない圃場において、千歳川の浚渫土を利用して排水不良を解消し、農家経営の安定を図る。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち	(第 6 章)
	節	農業	(第 1 節)
	施策	生産・流通の振興	(第 3 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	改良を要する農地	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	排水不良の農地に客土し、農作物の根腐れ等を排除することにより、収穫増を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	開発局が河川工事の浚渫土を仮置きヤードまで運搬し、そのヤードから各圃場までの小運搬を農業者自らが行う。市では、仮置きヤードの借地料と小運搬に掛かる燃料費に対し、1/2を上限に補助する。
			H13年度～ 参加戸数 4戸 対象農地 9.0ha
			H14年度～ 参加戸数 7戸 対象農地 21.1ha
			H15年度～ 参加戸数 9戸 対象農地 23.3ha
			H16年度～ 参加戸数 14戸 対象農地 42.8ha
		17年度	H17年度～ 参加戸数 7戸 対象農地 21.7ha

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	8,300	6,978	4,062	
①合計	8,300	6,978	4,062	0	
人件費(概算)	②人数(年間)	0.10	0.05	0.05	0.00
	③1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④=②×③	900	450	450	0
総事業費①+④	9,200	7,428	4,512	0	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	客土量(m ³)	50,300	87,900	50,300	
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加戸数	9戸	14戸	7戸	
	対象農地	23.3ha	42.8ha	21.7ha	
	軽減された農家負担額 (客土購入費分) 千円	199,320	349,910	200,190	
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	改良する農地の面積当たり	172	163	187	
	コスト (千円/ha)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	近隣市町では、国営や道営事業で同種の事業を行っているが、本市においては補助要件である営農条件等が合わず、見送った
---------------------------------	--

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	農作物の収益増など生産振興を図るため市の助成は妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	地下水位が高く、排水不良な農地を改良することは、優良農地を確保するために必要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	土砂代が無償であり、ヤードまでの運搬も開発局で行い、また農業者自らが小運搬するように助成金を設定していることから、安価に事業を進めることが出来るので妥当と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入) <input type="checkbox"/> 該当しない	受益農業者も相応(1/2)の負担をしている。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 概ね成果が上がっている <input type="checkbox"/> あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> 成果が上がっていない	低湿地を盛り土することによって、排水が改善され、農作物の収量増が見込める。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 十分効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> やや非効率 <input type="checkbox"/> かなり非効率	ヤードから圃場までの小運搬を農閑期に農業者自身で行うため、安価に事業を行える。	

【事務事業担当部局内優先度】

※部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input checked="" type="checkbox"/> 終了	15年度で浚渫土の搬入は終了し、平成17年度でヤード借上げ期間が終了したため、事業も17年度で終了する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input checked="" type="checkbox"/> 終了	一次評価のとおり、事業は終了する。